

第92期 事業報告書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

KOA株式会社

証券コード：6999



KOAからのメッセージ

私たちは、「循環・有限・調和・豊かさ」を
企業経営の価値観に置いています。

創業のビジョン

「農工一体」と「伊那谷に太陽を」

KOAは、かつて農村というコミュニティが崩壊していく中で、ひとりの青年が農村の生活基盤づくりと安定した暮らしをこの地で実現しようと興した会社です。以来、創業者の「伊那谷に太陽を」という夢をかなえるために、「農工一体」というビジョンをめざし、経営が実践されてきました。お百姓がお百姓として暮らしていける環境をつくる、それが創業当時の時代の声でした。

企業ミッション

KOAを支える「5つの主体」との信頼関係構築

そうした先人の意志を引き継ぎ、また今の時代の声に耳を傾けたとき、KOAは、株主様、お客様・お取引先様、地域社会、社員・家族、地球との信頼関係の構築に努めることを企業のミッションといたしました。KOAの経営は株主様をはじめとして、皆様とのお縁に恵まれ、お力添えをいただいで成り立っています。KOAは皆様とお近づきになれたことに感謝し、お付き合いの中で学ばせていただきながら、これらすべての主体にとっての企業価値を高めるため、企業活動に取り組んでいます。

企業経営の価値観

「循環・有限・調和・豊かさ」

企業という存在が、過去にないほど大きな影響力を全世界的に、そして地球規模でもつに至った現在、的確な時代認識の上立った経営・企業活動が求められていると私たちは考えます。20世紀は人口爆発に代表されるような「拡大・無限・征服・利便性」といった人類本位のコンセプトの時代であり、そうしたことのために人類のみならず地球上のあらゆる存在が存続の危機を迎えているのではないのでしょうか。そんな時代の切なる声に対して、私たちは「有限」の考えに立ち、人類を生かしてくれている地球環境とそこに生を受けたすべての生きとし生けるものとの調和を図り、拡大から循環、利便性から調和の中での豊かさを求めるべきではないかと考えます。KOAは企業経営の価値観を「循環・有限・調和・豊かさ」に置き、「地球あつての人類、人あつての経営」という空間（場）を、企業活動の中にできる限り設ける努力をしています。さまざまな人とのご縁あってこそKOAの経営が成り立つことを忘れずに、またその人類を生かしてくれている地球との調和を念頭にこれからも企業経営を進めてまいります。

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第92期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）事業報告書をお届けするにあたり、ごあいさつを申し上げます。

KOAは、2019年12月に“2030ビジョン”を決定しました。そのビジョン・スローガンは「Essential Parts of the World 小さな部品で豊かな社会を」。詳しい内容は別の機会に譲りますが、私が本当にうれしかったのは、平均35歳の若い社員の皆さんが、自ら手を上げプロジェクトに集まり、「KOAの“望ましい未来”って何だろう」という問いに、真剣に議論を重ね答えを出してくれたことです。

近年、地球規模で頻発している大規模な自然災害は、国際社会が取り組んでいるさまざまな地球温暖化対策を、一層加速させる必要性を示しています。KOAも抵抗器づくりをより深化させ、温室効果ガス排出量削減に貢献できる、機器の長寿命化や省エネに向け「高精度・高信頼性」分野で積極的な提案を行っていきます。

また、“Society 5.0”に代表されるサイバー（仮想）空間と現実社会を高度に融合させたシステムで、経済発展と社会的課題の解決を両立させるアプローチは、自動運転をはじめとすすでに現実のものになっています。サイバー空間への入り口は言うまでもなく「センサ」。1年間に全世界で1兆個のセンサが使用される「トリリオン（兆）・セン

コア KOA株式会社

代表取締役社長

花形 忠男



サ社会」も、もうそこまで来ています。KOAはこの分野でも基盤技術を進化させ、各種センサ、センサ・モジュール開発に注力していきます。

しかし、“2030ビジョン”の特長は、こうした時代の潮流を単にビジネスチャンスとして捉えるだけではなく、その変化の中でのKOAの望ましい姿を、KOAがずっと大切にしてきたことを踏まえて描き切ったことにあります。国際社会がめざす「持続可能な開発」とは、KOAの4つの価値観「循環・有限・調和・豊かさ」と同じ意味だと私は信じています。その価値観を共有し、実現に向けた社会課題解決に取り組むお客様の「困りごとの本質を見極め、想像を超える価値を提供」とすると、ビジョンは言っています。KOAにとってなんと素晴らしい未来像ではありませんか。

この未来からのおくりものは、今社員一人ひとりの手の中にあります。それを大きく結実させ、豊かな社会づくりをともにめざしてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月

営業の概況

2019年度の実績

経営成績の概況

当連結会計年度の世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、景気の停滞感が急速に強まっております。人やモノの移動制限に伴い不要不急の消費が控えられるとともに、経済活動の停止により雇用や投資に大きな影響が出始めております。

米国では雇用情勢の改善等を背景に個人消費が堅調に推移しましたが、設備投資や外需の低迷等による企業部門の悪化等により景気は減速傾向となりました。アジアでは中国において、インフラ投資は堅調ながら、米中貿易摩擦の影響による個人消費の悪化や企業が設備投資を控えたこと等により景気の減速が継続しました。また、欧州でも自動車部門等の製造業を中心とした企業業績の悪化等により減速傾向となるなど、全体として景気の回復力が鈍化しました。我が国経済では雇用情勢の改善等を背景に個人消費が緩やかに回復しましたが、世界景気の影響が弱まっていることから輸出・生産が弱含んでおり、全体として景気は横ばいで推移しました。

当社グループの属する電子部品業界におきましては、中長期的には電子化の進行により自動車関連市場が引き続き拡大するものの、当期においては世界景気の減速やお客様の在庫調整の影響を受け自動車向け等は弱含みで推移しました。

このような環境のもと、当社グループは品質・信頼性を重視する市場を中心に、高付加価値製品の拡販等の活動を進めるとともに、将来に向けた研究開発投資を増加させてまいりました。

販売面におきましては、主に中国の電源や自動車向けの売上が減少したこと等により当連結会計年度の売上高は500億20百万円（前年同期比58億74百万円減、10.5%減）となりました。

利益面におきましては、引き続きコストダウンに努めましたが、売上高の減少等により営業利益は14億65百万円（前年同期比42億5百万円減、74.2%減）、経常利益は為替差損の増加等により17億27百万円（前年同期比45億77百万円減、

72.6%減）、また、紛争和解金3億71百万円を特別損失に計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益は10億77百万円（前年同期比58百万円増、5.7%増）となりました。

なお、当連結会計年度の期末配当につきましては、厳しい経営環境に鑑み、経営資源の充実へ向け、株主の皆様には誠に申し訳ありませんが、無配とさせていただきます。

財政状態の概況

当連結会計年度の当社グループの資産は、受取手形及び売掛金等の減少により、前連結会計年度末と比べて14億96百万円減少し、当連結会計年度末は758億58百万円となりました。

当連結会計年度の負債は、長期借入金等の増加により、前連結会計年度末と比べて1億26百万円増加し、当連結会計年度末は176億42百万円となりました。

当連結会計年度の純資産は、有価証券評価差額金等の減少により、前連結会計年度末と比べて16億23百万円減少し、当連結会計年度末は582億16百万円となりました。

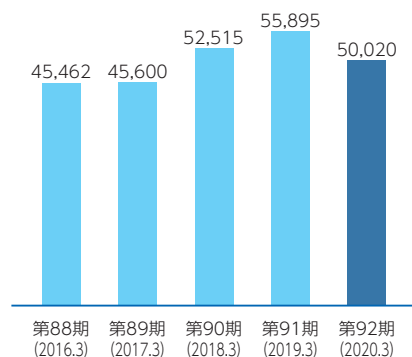
キャッシュ・フローの概況

当期は前述いたしましたような状況により14億35百万円の税金等調整前当期純利益となりました。営業活動によるキャッシュ・フローは減価償却費の増加および売上債権の減少などにより40億94百万円の流入を確保することが出来ました。投資活動によるキャッシュ・フローは有形固定資産の取得による支出54億13百万円などにより54億77百万円の資金の流出となりました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは長期借入れによる収入などにより21億61百万円の流入となりました。

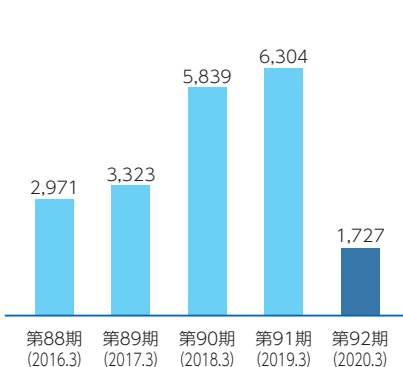
これらの結果、当連結会計年度における現金及び現金同等物の期末残高は、期首に比べ5億85百万円増加し、145億78百万円となりました。

連結業績の推移

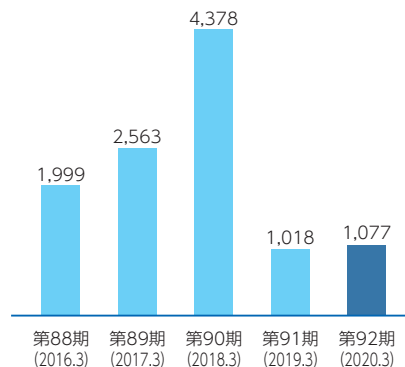
売上高
(百万円)



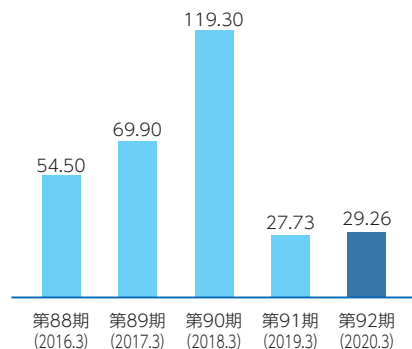
経常利益
(百万円)



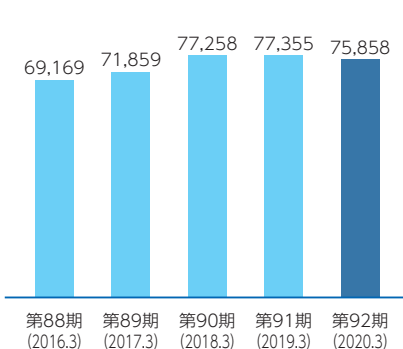
親会社株主に帰属する当期純利益
(百万円)



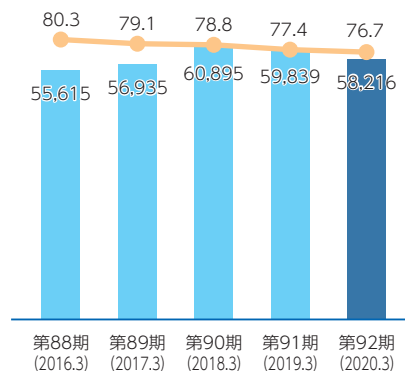
1株当たり当期純利益
(円)



総資産
(百万円)



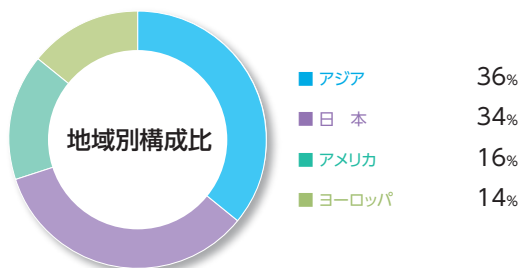
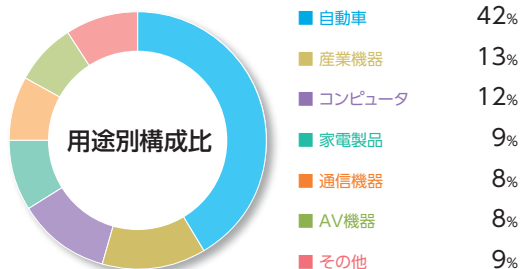
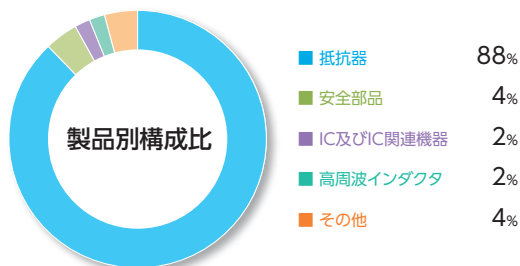
純資産／自己資本比率
(百万円) (％)



※「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第91期から適用しており、第90期の数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値を記載しております。

連結決算の概要

売上高構成比



連結損益計算書 (要約)

(単位: 百万円)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	自: 2019年4月1日 至: 2020年3月31日	自: 2018年4月1日 至: 2019年3月31日
売上高	50,020	55,895
売上原価	36,845	37,894
売上総利益	13,175	18,000
販売費及び一般管理費	11,709	12,330
営業利益	1,465	5,670
営業外収益	648	783
営業外費用	386	149
経常利益	1,727	6,304
特別利益	135	3
特別損失	426	4,872
税金等調整前当期純利益	1,435	1,435
親会社株主に帰属する当期純利益	1,077	1,018

連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位: 百万円)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	自: 2019年4月1日 至: 2020年3月31日	自: 2018年4月1日 至: 2019年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,094	2,146
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,477	△ 4,261
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,161	△ 1,294
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 194	△ 115
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	585	△ 3,524
現金及び現金同等物の期首残高	13,993	17,474
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	44
現金及び現金同等物の期末残高	14,578	13,993

連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

科 目	当連結会計年度 2020年3月31日現在	前連結会計年度 2019年3月31日現在
（資産の部）		
流動資産	38,215	39,445
現金及び預金	16,126	15,197
受取手形及び売掛金	12,075	13,616
電子記録債権	1,509	1,411
有価証券	—	200
商品及び製品	2,970	3,694
仕掛品	2,730	2,481
原材料及び貯蔵品	1,607	1,445
前払費用	195	226
未収還付法人税等	320	470
その他	712	744
貸倒引当金	△ 33	△ 44
固定資産	37,643	37,910
有形固定資産	29,570	28,301
無形固定資産	612	556
投資その他の資産	7,459	9,052
資産合計	75,858	77,355
（負債の部）		
流動負債	10,623	13,582
支払手形及び買掛金	4,352	4,839
短期借入金	1,227	221
その他	5,043	8,522
固定負債	7,018	3,933
長期借入金	2,633	217
その他	4,385	3,715
負債合計	17,642	17,515
（純資産の部）		
株主資本	59,045	59,219
資本金	6,033	6,033
資本剰余金	9,195	9,195
利益剰余金	46,449	46,706
自己株式	△ 2,632	△ 2,715
その他の包括利益累計額	△ 829	620
その他有価証券評価差額金	997	1,803
為替換算調整勘定	△ 1,323	△ 846
退職給付に係る調整累計額	△ 502	△ 336
純資産合計	58,216	59,839
負債純資産合計	75,858	77,355

KOAらしさ報告書2020を 発行しました

KOAのさまざまな取組みを紹介する「KOAらしさ報告書」を年1回発行しています。

今回はホームページへの掲載のみとさせていただきます。以下のURLよりご覧ください。

<https://www.koaglobal.com/ir/surveyinfo>



surveyinfo

WestWing 「共創の場」のご紹介



2016年、KOA本社のある「KOAパインパーク」南側隣接地に、試験・研究開発拠点として「WestWing」、国内物流拠点として「SouthWing」が竣工しました。WestWingには“共創の場”という部屋を設け、お客様とKOA技術者が技術交流を通じ、信頼関係を強化しながら、イノベーションを創造する場として活用しています。

以前より技術部門では、いろいろな電子機器を購入・分解し、使用されている電子部品のトレンドを調査し、新製品の開発やKOA製品の拡販のヒントにしてきました。この活動をさらに深化させるべく、“共創の場”では自動車をまるごと一台分解し、搭載されている電子制御ユニットを調査し展示しています。2017年から2018年はハイブリッド車を、2019年からは電気自動車を分解・調査して展示しています。

自動車の電子制御ユニットを開発・設計している技術者の方々にご来社いただき、分解されたユニットを実際に見ながら詳しい解説をいただいたり、開発コンセプトや将来のトレンドなどを伺いながら、KOAがこれから提供するべき新しい価値についてお客様と活発に議論しています。“共創の場”には、開設以来32組、143名（2020年3月現在）のお客様にご来場いただきました。未来の新製品がまさにここから生まれようとしています。

また“共創の場”は、生産現場でもものづくりをしている社員が、自分たちのつくった製品が実際にどのように使われているか、そして何を求められているかを知ることができる「社員の勉強の場」としても活用されています。

■ハイブリッド車 分解レポート

当時は個々の電子制御ユニットを入手して調査していましたが、大きな成長が期待されていた環境対応車一台に使用されている電子部品のトレンドを理解するために、ハイブリッド車を購入し分解・調査しました。

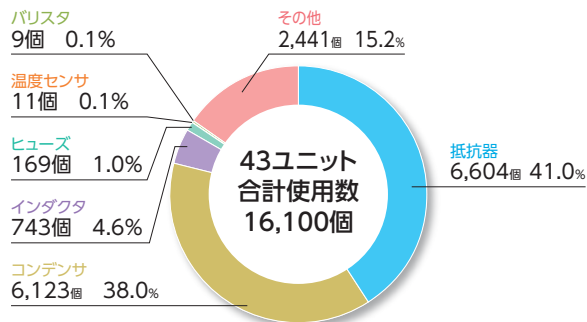
分解したハイブリッド車には、43個の主要な電子制御ユニットに、約16,000個の電子部品が使用されていました。その中で抵抗器は約6,600個使用され、数量としては電子部品の中で最も多い約41%を占めていることが分かりました。これを基に、KOAの主力製品である厚膜チップ抵抗器が、エンジン車、ハイブリッド車、電気自動車のそれぞれ一台に平均どのくらい使用されるか独自に算出しました。そして、今後の長期需要を予測し、お客様からのご要望にタイムリーに応えることができるよう準備を進めています。

また、今後のトレンドである環境対応車や自動運転に必要な電子制御ユニットの回路と、そこで使用される抵抗器を調査した結果、電流検出用、高精度、高信頼性、耐環境性、小型大電力などの抵抗器の需要が今後も期待できると予想しています。

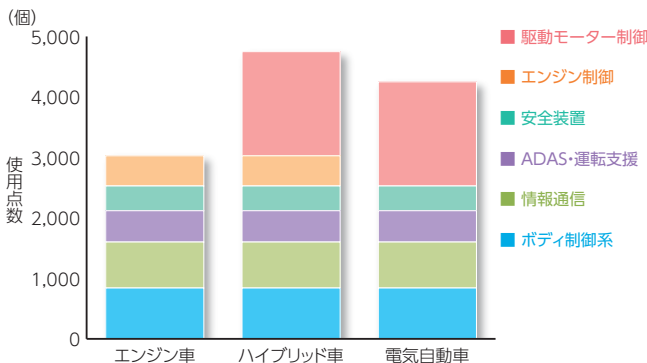
今後、各国の環境規制の強化や自動運転の実用化が進む中、電動化や高度な電子制御化がますます要求されます。そこで使用される抵抗器を仮説・検証し、新製品のあり方を探ることが、これからの社会が必要とする製品をお客様へタイムリーにお届けできることにつながると信じ、今後も活動を続けていきます。



【分解したハイブリッド車の使用電子部品数量(KOA調査結果)】



【パワートレイン別 厚膜チップ抵抗器使用数量(KOA算出)】



KOA 80年の歩み

800 (億円)

KOAは2020年3月に創立80周年を迎えました。

農村の生活基盤づくりと安定した暮らしを実現したいという願いのもと1940年に創立した当社は、地域の雇用を守りながらアジア、欧米など海外にも拠点を拡大し、伊那谷を中心に世界中でものづくりを展開してまいりました。

80年の歩みの中で蓄積してきた材料技術、加工技術、評価技術といったさまざまな基盤技術をさらに深掘りし連携させ、お客様と一緒に新たな価値の創造をめざします。

これからも、KOAを支えてくださる「5つの主体」との信頼関係の構築に努め、皆様と共に歩んでまいります。

700

600

500

400

300

200

100

0



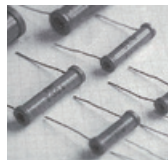
興亜工業社伊那工場 (1943年)



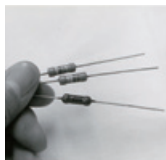
抵抗器の塗装工程 (1962年頃)



当時の伊那本社



L形炭素皮膜抵抗器



リード線付き抵抗器

1947 1949 1951 1953 1955 1957 1959 1961 1963 1965 1967 1969 1971 1973 1975 1977 1979 1981 1983

- 1940年 東京都荏原区（現在の品川区）に興亜工業社を設立
L形炭素皮膜抵抗器の製造を開始
- 1941年 長野県上伊那郡伊那町（現在の伊那市）に伊那工場を設置
- 1947年 株式会社に組織変更
- 1950年 社名を興亜電工株式会社に変更
- 1961年 東京証券取引所第二部に株式を上場
- 1962年 名古屋証券取引所第二部に株式を上場
- 1967年 電子機器の小型化要求に対応するため、集積回路（IC）製品の製造を開始
- 1970年 家庭用の電子機器における火災防止が強く求められ、不燃性抵抗器を開発
- 1977年 リード線のない円筒形のチップ抵抗器の開発に成功

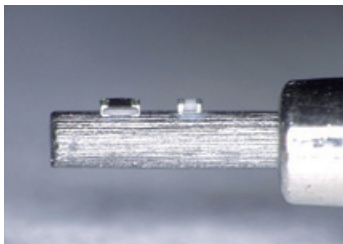
- 1982年 角形チップ抵抗器の製造を開始
- 1984年 東京証券取引所、名古屋証券取引所第一部に株式を上場
長野県上伊那郡箕輪町に工場「イーストウイング」、管理棟「ハローウイング」を開設し、敷地全体を「パインパーク」と命名
- 1986年 社名をKOA株式会社に変更
- 1987年 企業体質改善運動を「KOA Production System」と呼称し推進を開始
※のちに「KOA Profit System」に改称
- 1989年 角形チップ抵抗器の月産5億個
- 1990年 創立50周年
- 1992年 長野県飯田市桐林に工場「匠の里」を開設



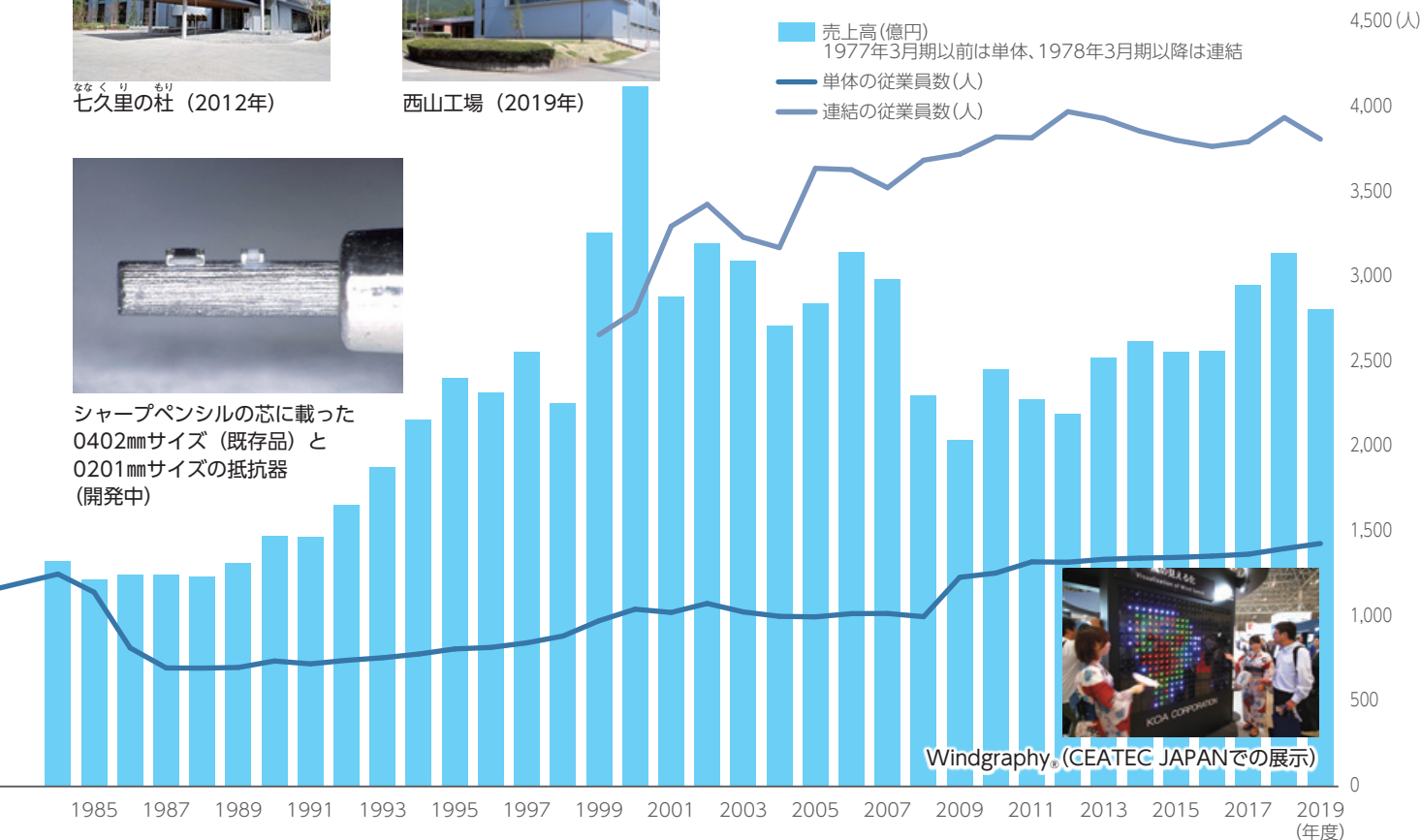
ななくり もり
七久里の杜 (2012年)



西山工場 (2019年)



シャープペンシルの芯に載った
0402mmサイズ (既存品) と
0201mmサイズの抵抗器
(開発中)



Windgraphy® (CEATEC JAPANでの展示)

- 1993年 KOA森林塾を開講
- 1996年 ISO9001の認証を取得
- 1998年 長野県上伊那郡箕輪町に開発拠点「アースウイング」を開設
- 1999年 角形チップ抵抗器の月産50億個
- 2001年 高まる電子機器の小型化要求に対応するため、0.4×0.2mmの超小型チップ抵抗器の開発に成功
- 2003年 ISO/TS16949の認証を取得
- 2008年 角形チップ抵抗器の月産100億個
- 2012年 長野県下伊那郡阿智村に工場「七久里の杜」を開設
- 2016年 0402mmサイズのさらに半分、0.25×0.125mmサイズのチップ抵抗器の開発を開始、展示会に参考出品

- 長野県上伊那郡南箕輪村に試験・研究開発拠点「WestWing」、物流拠点「SouthWing」を開設
- 北九州学術研究都市に「北九州研究所」を開設
- 2018年 角形チップ抵抗器の月産150億個
- 温度センサを利用し風の動きを可視化する技術を「Windgraphy®」と命名し商標登録
- 2019年 長野県伊那市西箕輪の「西山工場」に新棟を増設
- 2020年 創立80周年

「Windgraphy」はKOA株式会社の登録商標です。

「おてんとうさま」活動

KOA環境方針

出発点 どうしたら地球と調和した生き方ができるのか。

理念 KOAは信州伊那谷に生まれ、育まれてきた企業です。お百姓がお百姓として自らのふるさとで生きていけるようにとの願いで、創立しました。
電子部品の製造に携わりながらも、土と水とおてんとうさまとおつきあいのなかで学び、生きとし生けるものの一人として地球との間に信頼関係を築いていきたいと考えます。
社員一人一人が自分たちをとりまく水系の命の循環に関心を持ち、「おてんとうさま」（環境マネジメントシステム）を自己責任のもと実践することで、わたしたちのふるさとを舞台に生物多様性を保全し、循環型社会のモデルを創造していきます。

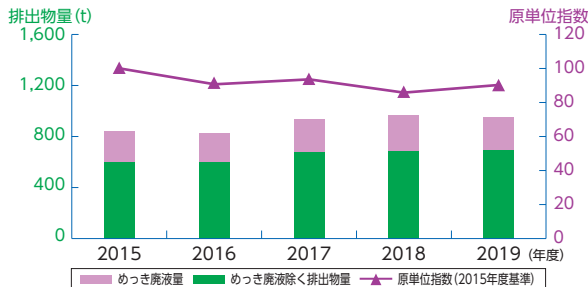
- 方針**
- 一、KOAは、開発・製造・販売活動、製品及びサービスが環境に与える影響を的確にとらえ、「おてんとうさま」（環境マネジメントシステム）を構築し、「おてんとうさま」の継続的改善及び環境汚染の予防を図る。
 - 一、KOAの環境活動は、社会環境対応を「おてんとうさま」活動とし、製品環境対応を品質保証活動として展開する。
 - 一、KOAの環境側面に適用可能な法規制、KOAが同意するその他の要求事項（お客様要求事項を含む）及び自主基準を順守し、環境マニュアル・品質マニュアルを基に全社員が自然環境に配慮した行動をする。
 - 一、本方針の理念に基づいて行動するため、環境に調和した業務や有限な資源の有効利用、環境負荷の少ない製品・工程、地球温暖化防止（省エネルギー）を追求し実現する環境改善活動を環境目的・目標の枠組みとして、毎年見直しをする。
 - 一、内部環境監査を実施し、自主管理による「おてんとうさま」の維持向上に努める。
 - 一、この環境方針は、KOA及びKOAグループにおいて、環境活動に携わる全ての人に周知し、環境意識の向上を図る。

2013年4月1日

KOA株式会社 代表取締役社長 花形 忠男

「おてんとうさま」活動の成果

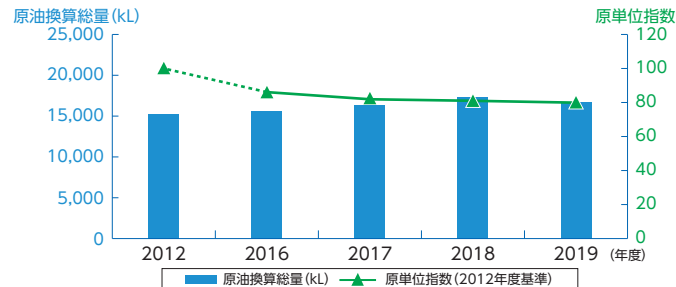
1 有限な資源の有効利用



KOAグループでは、「有限な資源の有効利用・循環利用を追求した事業活動を実現する」を環境目標として設定し、排出物の削減、材料の利用効率向上に取り組んでいます。

2019年度は、継続的な工程不良改善、材料加工の工夫による材料購入量の削減、ペーパーレスを目的とした製造履歴のIT化、製品の個別包装材の削減などの取り組みにより、2015年度（基準年度）比9.7%低減することができました。

2 地球温暖化防止



KOAグループでは、「低炭素化を追求した事業活動を実現する」を環境目標として設定し、ユーティリティ設備の計画的更新や工程の運用改善によるエネルギー利用の高効率化に取り組んでいます。

2019年度は、炉やコンプレッサの改善に多くの拠点で取り組みました。炉の加熱方式の変更や稼働時間の見直しによるヒーター消費電力の削減、エア流量の適正化や漏気対策による圧縮エアの削減が図られ、2012年（基準年度）比20.1%低減することができました。

会社概要・株式の状況 (2020年3月31日現在)

会社概要

社名	コーア KOA株式会社 (KOA CORPORATION)
所在地	本社 〒399-4697 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪14016番地 KOAパインパーク内アースウイング TEL: 0265-70-7171 (代表) (登記上の本店)
創立	長野県伊那市荒井3672番地 1940年3月10日 (昭和15年)
資本金	6,033百万円
事業内容	各種電子部品の開発・製造・販売

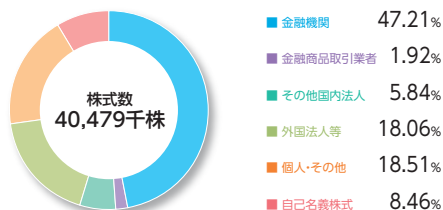
取締役及び監査役

取締役会長	むかいやま 向山 孝一
代表取締役社長	花形 忠男
常務取締役	野々村 昭
取締役	百瀬 克彦
取締役	山岡 悦二
取締役	小嶋 敏博
※取締役	マイケル・ジョン・コーバー
※取締役	北川 徹
常勤監査役	五味 正志
常勤監査役	矢島 豪
※監査役	かみしんごく 上拾石 哲郎
※監査役	飯沼 好子

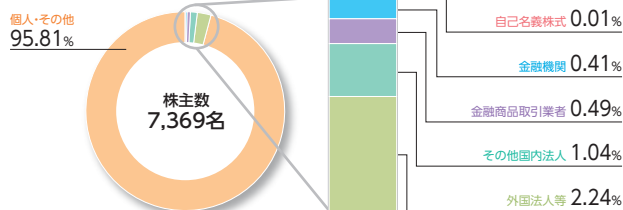
(注) ※印の取締役及び監査役は社外役員です。

株式の分布状況

【所有者別持株比率】



【所有者別株主比率】



株式の状況

発行可能株式総数	150,000,000 株
発行済株式の総数	40,479,724 株
株主総数	7,369 名

上場証券取引所

東京証券取引所 市場第一部
名古屋証券取引所 市場第一部

大株主の状況

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,520,100	9.50
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,462,400	6.64
日本生命保険相互会社	2,226,650	6.01
株式会社八十二銀行	1,832,400	4.94
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	1,691,100	4.56
野村信託銀行株式会社 (投信口)	1,368,400	3.69
株式会社三菱UFJ銀行	1,000,000	2.70
KOA共栄会	738,830	1.99
三菱UFJ信託銀行株式会社	700,000	1.89
GOVERNMENT OF NORWAY	684,564	1.84

(注) 1. 当社は、自己株式3,425,879株を保有しておりますが、上記には記載しておりません。

なお、自己株式には、従業員持株ESOP信託が保有する当社株式204,600株を含んでおりません。

2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

本社・技術拠点

本社 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪14016
KOAパインパーク内アースウイング
〒399-4697 ☎ 0265 (70) 7171
FAX 0265 (70) 7711

経営管理インシアティブ

経営戦略センター ☎ 0265 (70) 7173
FAX 0265 (70) 7992

総務センター ☎ 0265 (70) 7171
FAX 0265 (70) 7711

人事教育センター ☎ 0265 (70) 7177
FAX 0265 (70) 7711

知的財産センター ☎ 0265 (70) 7179
FAX 0265 (70) 7712

情報システムセンター ☎ 0265 (70) 7275
FAX 0265 (70) 7276

CSR推進センター ☎ 0265 (70) 7065
FAX 0265 (70) 7994

技術インシアティブ

☎ 0265 (70) 7175
FAX 0265 (70) 7712

伊那事業所 長野県伊那市荒井3672
〒396-8585 ☎ 0265 (78) 6622
FAX 0265 (78) 5266

West Wing 長野県上伊那郡南箕輪村北原1634-17
West Wing 〒399-4511

品質保証インシアティブ ☎ 0265 (73) 9156
FAX 0265 (78) 2128

ハローウイング 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪14016
KOAパインパーク内 〒399-4697

ものづくりインシアティブ
KPSセンター ☎ 0265 (79) 1481
FAX 0265 (79) 1409

北九州研究所 北九州市若松区ひびきの2-1
北九州学術研究都市
産学連携センター408号室
〒808-0135 ☎ 093 (883) 8226
FAX 093 (883) 8251

営業拠点

東洋ビジネスフィールド 横浜市港北区新横浜2-13-13
TPR新横浜ビル2F
〒222-0033 ☎ 045 (476) 1800
FAX 045 (476) 1809

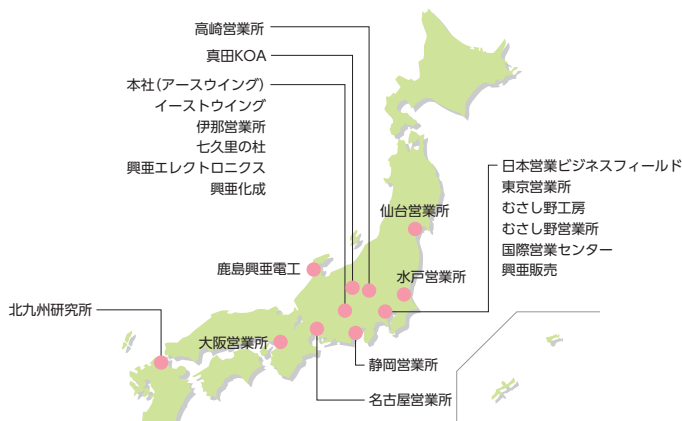
営業支援センター ☎ 045 (476) 1800
FAX 045 (476) 1809

物流センター 長野県上伊那郡南箕輪村北原1634-17
South Wing
〒399-4511 ☎ 0265 (76) 9110
FAX 0265 (76) 9138

むさし野工房 東京都府中市緑町2-17-2
〒183-0006 ☎ 042 (336) 5300
FAX 042 (336) 5353

販売インシアティブ ☎ 042 (336) 5300
FAX 042 (336) 5353

国際営業センター ☎ 042 (336) 5755
FAX 042 (336) 5353



(各営業所)

仙台営業所 仙台市宮城野区榴岡2-4-22仙台東口ビル8F
〒983-0852 ☎ 022 (292) 3303
FAX 022 (292) 6606

水戸営業所 茨城県ひたちなか市足崎字西原1445-31
〒312-0003 ☎ 029 (273) 4651
FAX 029 (274) 8824

高崎営業所 群馬県高崎市和田町2-3東邦ビル4F 401号室
〒370-0847 ☎ 027 (320) 8760
FAX 027 (320) 8766

むさし野営業所 東京都府中市緑町2-17-2
〒183-0006 ☎ 042 (336) 5757
FAX 042 (336) 5353

東京営業所 横浜市港北区新横浜2-13-13TPR新横浜ビル2F
〒222-0033 ☎ 045 (476) 1820
FAX 045 (476) 1814

伊那営業所 長野県伊那市荒井3672
〒396-8585 ☎ 0265 (78) 6622
FAX 0265 (78) 5266

静岡営業所 静岡県駿河区馬淵3-2-25 TKビル5F
〒422-8063 ☎ 054 (282) 5166
FAX 054 (282) 5466

名古屋営業所 名古屋市長区社台3-230グランドビル4F
〒465-0092 ☎ 052 (774) 2821
FAX 052 (774) 2891

大坂営業所 大阪市淀川区西中島7-1-5辰野新大阪ビル6F
〒532-0011 ☎ 06 (6885) 0822
FAX 06 (6885) 6388

生産拠点

イーストウイング 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪14016
KOAパインパーク内
〒399-4697 ☎ 0265 (79) 9080
FAX 0265 (79) 9079

箕輪工場 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪8633
〒399-4601 ☎ 0265 (70) 5390
FAX 0265 (79) 8980

西山工場 長野県伊那市西箕輪2445
〒399-4501 ☎ 0265 (73) 7166
FAX 0265 (73) 6112

MINOWAウイング 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪14016
KOAパインパーク内
〒399-4697 ☎ 0265 (79) 8471
FAX 0265 (79) 7079

中央工場 長野県上伊那郡南箕輪村5061
〒399-4511 ☎ 0265 (77) 3513
FAX 0265 (72) 4397

七久里の社 長野県下伊那郡阿智村春日1088-1
〒395-0301 ☎ 0265 (45) 1711
FAX 0265 (45) 1717

匠の里 長野県飯田市桐林2441-1
〒399-2565 ☎ 0265 (26) 7701
FAX 0265 (26) 7732

国内グループ会社

興亜エレクトロニクス株式会社

長野県下伊那郡阿南町西条733 〒399-1504
☎ 0260 (22) 2261 FAX 0260 (22) 3356

興亜販売株式会社

東京都千代田区神田須田1-7-9VORT秋葉原Maxim3F 〒101-0041
☎ 03 (3255) 5521 FAX 03 (3251) 7648

真田KOA株式会社

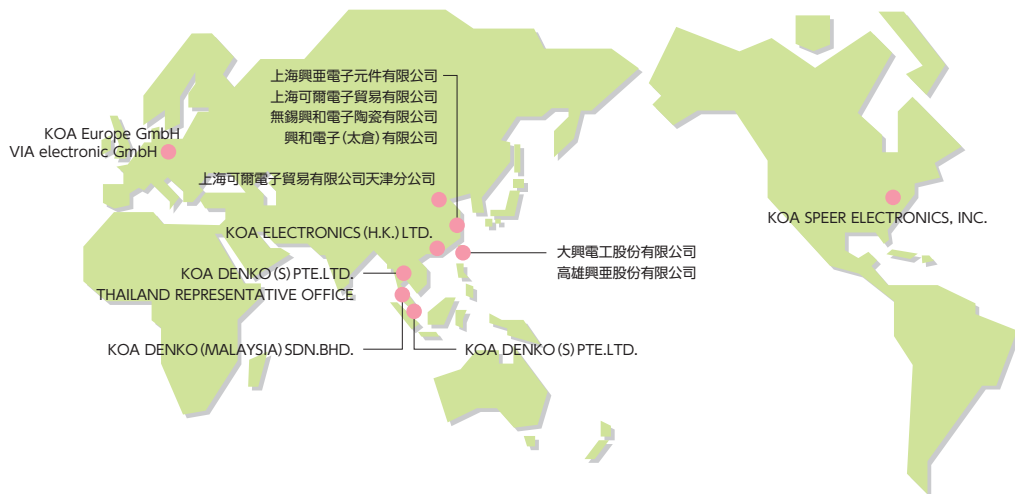
長野県上田市真田町長5688-6 〒386-2201
☎ 0268 (72) 3770 FAX 0268 (72) 8231

鹿島興亜電工株式会社

石川県鹿島郡中能登町武部は部11 〒929-1802
☎ 0767 (76) 1111 FAX 0767 (76) 0500

興亜化成株式会社

長野県伊那市御園180-2 〒396-0022
☎ 0265 (72) 7264 FAX 0265 (76) 0006



海外の拠点

アメリカ/KOA SPEER ELECTRONICS, INC.

199 BOLIVAR DRIVE BRADFORD PA
16701 USA

☎ (1) 814-362-5536

FAX (1) 814-362-8883

ドイツ/KOA Europe GmbH

KADDENBUSCH 6
D-25578 DÄGELING ITZEHOE GERMANY

☎ (49) 4821-89890

FAX (49) 4821-898989

ドイツ/VIA electronic GmbH

ROBERT-FRIESE-STRASSE 3, D-07629 HERMSDORF, GERMANY

☎ (49) 036601-9298-0

FAX (49) 036601-9298-110

マレーシア/KOA DENKO(MALAYSIA)SDN.BHD.

LOT 7,8&9 BATU BERENDAM, FTZ
75350 MELAKA, MALAYSIA

☎ (60) 6-2328031

FAX (60) 6-2313171

シンガポール/KOA DENKO(S)PTE.LTD.

80 BENDEMEER ROAD #03-01
SINGAPORE 339949

☎ (65) 63395151

FAX (65) 63398556

タイ/KOA DENKO(S)PTE.LTD.

THAILAND REPRESENTATIVE OFFICE

38 CHALANTTIP BUILDING, 7TH FLOOR
UNIT 7CD, CONVENT RD.,SILOM, BANGRAK,
BANGKOK 10500 THAILAND

☎ (66) 2632-0382

FAX (66) 2632-0903

中国/上海興亞電子元件有限公司

中国上海市漕河泾新興技術開發区桂平路581号

☎ (86) 21-64850723

FAX (86) 21-64852960

中国/上海可爾電子貿易有限公司

中国上海市漕河泾新興技術開發区桂平路581号

☎ (86) 21-64320101

FAX (86) 21-64320083

中国/上海可爾電子貿易有限公司天津分公司

中国天津市和平区南京路219号天津中心8楼823室

☎ (86) 21-64320101

FAX (86) 21-64320083

中国/無錫興和電子陶瓷有限公司

中国江蘇省宜興市和橋鎮西鋤村向山路1号

☎ (86) 510-87871645

FAX (86) 510-87871626

中国/興和電子(太倉)有限公司

中国江蘇省太倉市太倉高新技術產業開發区洛陽東路77号

☎ (86) 512-53561111

FAX (86) 512-53561600

香港/KOA ELECTRONICS(H.K.)LTD.

UNIT 2315, METROPOLIS TOWER, 10
METROPOLIS DRIVE HUNGHOM,
KOWLOON, HONG KONG

☎ (852) 2492-6918

FAX (852) 2492-7398

台湾/大興電工股份有限公司

中華民國台北市南京東路1段34号平安大樓11樓

☎ (886) 2-25214166

FAX (886) 2-25641859

台湾/高雄興亞股份有限公司

中華民國高雄市楠梓加工出口區開發路17之2号

☎ (886) 7-363-4157

FAX (886) 7-363-4543

年間IRカレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
決算発表	● 期末決算			● 第1四半期決算			● 第2四半期決算			● 第3四半期決算		
IR説明会	● 期末決算説明会						● 第2四半期決算説明会					
株主総会	● 招集ご通知発送 ● 定時株主総会 ● 決議ご通知発送											
株主通信IRサイト	● 株主通信発送 ● IRサイト更新						● 中間株主通信発送 ● IRサイト更新					
有価証券報告書	● 有価証券報告書			● 四半期報告書(第1四半期)			● 四半期報告書(第2四半期)			● 四半期報告書(第3四半期)		

IRのお問い合わせ先はこちらです

電話：0265-70-7171

FAX：0265-70-7711

KOA株式会社

経営管理イニシアティブ総務センター

ホームページ内「お問い合わせ」

<https://www.koaglobal.com/contact/othersForm>

表紙の絵

刈ったそばから伸びてくる夏草の生気に驚き、木々がなす闇の濃さにも不意に驚かされる季節です。長野県下伊那地域では今も、家の周りや畦の草を山羊に食べさせているところを見かけます。そうして山羊が出てくれる乳が、貴重な栄養だった頃もありました。



絵：今村由男
長野県生まれ
日本版画協会会員

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月	
基準日	定時株主総会	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日
単元株式数	100株	
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	
公告の方法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL https://www.koaglobal.com ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。	

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行で承りますので、上記までお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取り次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

